



# WÓDKA [VODKA]



## ポーランド生まれ 本気のウォッカ HONEST VODKA HONEST PRICE

WÓDKA ウォッカ！スピリッツを愛する人々が作った、正直なウォッカだから、ストレートにお届けします。ウォッカの歴史には激しい論争があります。ロシア発祥だと言う人もいますが、実際には間違いなく、ポーランドから来たものです。だからこそ、私たちはポーランドで、ポーランドの材料を使用し、古典的なポーランドのスタイルで WÓDKA ウォッカを製造しています。原料となるゴールデンライ麦を発酵させ5回蒸留し、白樺の活性炭で2回濾過します。そのまま放置して休ませ、それでおしまい。その結果、カクテルでも、カクテルでなくても美味しい、クリーンで飾り気のない高品質のウォッカが誕生しました。WÓDKA ウォッカ を偉大なものにしてるのは私たちの歴史ではありませんが、私たちはそれを誇りに思っています。私たちは、農園で栽培されたポーランド産ライ麦ウォッカの中で最後に残っているものの1つであり、私たちの蒸留所は、ローマ時代にもライ麦で有名だったポーランド最古の町カリシュ地方にあります。私たちが使用するものはすべてポーランド産で、特に原料となるゴールデンライ麦は、地元産のダンコウスキー種。ウォッカマニアも認める黄金色の品種です。



### 原料へのこだわり

Wielki Polski 地方（ポーランドの中西部）のカリシュ市（ポーランド最古の都市であり、最高級のライ麦が獲れることで有名）で収穫された最高級のポーランド産ライ麦であるダンコウスキー・ゴールデン・ライ麦種\*100% 使用。\*プレミアムウォッカのベルベデルやソビエスキーの高級レンジであるシングルエステートに使用されるライ麦と同品種です。



### 蒸留所

AWW グループが所有する4つの製造工場の中のひとつであるカリシュ蒸留所 ([www.aww.com.pl](http://www.aww.com.pl)) にて、製造・瓶詰めされています。



### パッケージング

昔のボトルデザインを伝承したクラシックなボトルデザイン。極めてシンプルなボトルデザインは「Honest Vodka. Honest price.」 「良質なウォッカを適正な価格で提供する」というブランドの姿勢を表現しています。



### テイastingノート

Nose: かすかなバニラの甘さ、わずかなライ麦のパンとブラック・ペッパー、バランスのとれた豊かな仕上り。  
Palate: フルボディ、わずかにアーモンドやライ麦のパン、ホワイト・ペッパーとスパイスのエレガントな味わい。  
Finish: 長めのフィニッシュ。

### 「高品質、低価格」が最大の売り

品質(味)はプレミアムですが、価格はエコノミーです。品質は原料も含めプレミアムウォッカと言われる商品と遜色ない若しくはそれ以上の品質だと自負しております。品質面と価格面からバーなどの料飲店では、カクテルのベースやハウスのウォッカとして使用していただけることを想定しております。低価格を実現できる理由は、瓶形やキャップなどのパッケージングをシンプルにすることによりコストを抑えています。また、広告や宣伝といった販促費を抑え商品コストに反映させています。



## ウォトカ・ウォッカ [WÓDKA VODKA]

- 度数：40%   ○容量：750ml
- 原産国：ポーランド







# 生搾りウotkaサワー

## グレープフルーツ

- ウotka・ウotka：50ml
- 生搾りグレープフルーツ：1/2個

氷を入れたグラスにウotkaを注ぎステアします。その後、生搾りグレープフルーツジュースを入れ最後に優しくステアして出来上がり！

## レモン

- ウotka・ウotka：50ml
- 生搾りレモン：1個
- シロップ：お好みで
- ソーダウォーター：80ml~100ml

氷を入れたグラスにウotkaを注ぎ十分ステアします。その後生搾りレモンジュースを入れ軽くステア、ソーダを入れそっとステアして完成。

BizStyle2019年3月号掲載

## 「正直さ」は自信の表れ。ポーランドが産んだ至高のウotka。

世界各国で賞賛を浴びる東欧の逸品。「ウotka・ウotka」を、果実の生搾りサワーで味わってみる。

雑味の少ない飲み口が特徴のウotkaは、そのニュートラルな味わいから、カクテルのベースに適したスピリッツとして広く知られている。だが、そのすっきりとした持ち味とは裏腹に、起源を巡る激しい論争が繰り返されてきた歴史をご存知だろうか。我々がウotka発祥の地と名乗りを上げる国は、東欧に2つ。ポーランドとロシアだ。

**二国の誇りたるウotka 歴史も語源も諸説アリ**

「ロシアでは12世紀ごろから農民の地酒として親しまれてきたんだぞ」「それを言うならポーランドには11世紀ごろから存在してるぜ」

酔えば始まる舌戦は、自国の酒文化への誇りから来るものだろうか。ウotkaの起源を辿ると、モスクワ公国の記録から、12世紀ごろには東欧で愛飲されていたことは事実なようだ。ウイスキーやブランデーの誕生よりも以前に欧州に登場した蒸留酒。なるほど、心地よくグラスをかわし、互いに軽く小突き合いながら「ウチの誇りだ」と主張し合う気持ちもよく分かる。

歴史と同様に、ウotkaという名称の由来にもいくつかの説がある。有力なのは、ポーランド語源の「ワオター」か、ロシア由来の「スズネーニャ・ワター」あたりだろうか。いずれにしても16世紀ごろにはウotkaと呼ばれていたようだ。

諸説紛々、今なお陽気な乾杯と活発な議論が繰り返されるのは、それだけウotkaが醸し出すテーマ自体に魅力があるところだろう。

### 各国の賞を総ナメにする オールポーランド体制

厳選されたクラフトリカーを日本に紹介する「アイデイ商事」が、数あるウotkaの中でいま最も注目すべきが、ポーランドの「ウotkaカウツカ」という。

同銘柄は、原料すべてがポーランド産という、同国の誇りだ。主原料であるライ麦へのこだわりは特に強く、最高級と評されるタンコウイスキー・ゴールデンライ麦100%使用。また、一般的に、ウイスキーが2回ほどの蒸留でアルコール度数を高めるのに対し、「ウotka」は実に5回もの蒸留過程を設定。これまた自国産の白樺で作られた活性炭で2度濾過するなど、同国の伝統製法が色濃く反映されている。

そんな逸品を、世界が放っておくわけがない。業界内でのウotkaの評価は極めて高く、多数のコンテストを総ナメ状態。たとえば、国際スピリッツ品評会やベストバイに選出された事例は数知れず、欧州どころか米国でも金賞級を多数受賞。最近では、あの「サンフランシスコワールド・スピリッツコンペティション」O.F.V.で、ダブルゴールドメダルとベストウotka賞を同時受賞。つまり、「いま最も勢いのあるスピリッツ」というのも過言ではないだろう。

では、そのウotkaの魅力を深く理解するには、どう飲むべきか。ここでおきの方法があるので紹介しよう。



Wodka Vodka (ウotka・ウotka)  
ポーランド産まれ 本気のウotka  
原産国/ポーランド 750ml・40%

### 不純物もウン偽りもない 「正直なウotka」の愉しみ

ストリートも良いが、カクテルの割り材としても評価の高いウotka。前述の製造過程を知れば雑味の少なさが想像できるが、同社によると「果物の生搾りをフィチャーしたサワーに使えば、ピュアな果実味をロスなく楽しめやす」とのこと。「ユア」というワードはサワーには少し馴染みがないかもしれないが、試してみると実に衝撃的。非常にクリアな仕上がりににもかかわらず、強い酒独特のアタック感がなく、あくまでソフト。これなら、強いお酒が苦手な方や、不純物が気になる健康志向の方にもピッタリだろう。

大量生産とは縁遠い伝統の製法に、東欧ポーランドのブランド。こうして聞くと、とてもではないが手が届かない高価な酒を想像するかもしれない。そこはウotkaのものひとつの特筆部分。実は、その品質を思えば驚くほど身近なプライスで流通しているのだ。これを実現しているのは、全工程を生産から瓶詰めまでのシステムにある。また、過剰な広告宣伝を排し、その分ただひたすらに製品価値を追求しているのだとか。

賞を受けると「コンテストの結果がすべてではない」とコメントする同社だが、これは謙遜ではなく本音なのだ。ワン偽りを排し、品質だけを追求する「正直なウotka」。大人の愉しみとして、味わい価値は高かった。